



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を  
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

★1月の目標

- ★学習をがんばろう
- ★みんなと なかよくしよう
- ★笑顔で

★配布物のお知らせ

- 1 学校便り

★今後の行事計画

- 11月25日サンクスギビング休み
- 12月2日幼稚部入園募集開始
- 12月16日2学期終業日
- 1月 6日3学期始業日

★二年二組

感想文

あら川 けい

ぼくは、「どうぶつ園のじゅうい」をよんで  
フラビーがはがぬけるのをはじめてしりました。  
どうぶつ園のじゅうい、どうぶつは、はがぬけな  
いからおもしろいとおもいました。つぎに、い  
のししのあかちゃん、  
どうぶつ園ででてるのか  
がわかりません。  
どうぶつ園かというところ、  
どうぶつ園でまわる場所を  
あまり見たことがないからです。



★二年二組

感想文

ホーバス ジョナ

どうぶつ園のじゅういは、朝からずつとい  
そがしい。びょう気じゃないどうぶつ園のよう  
すをみなくちやいけないし、日記をつけたり、  
声をおぼえてもらったり、やることがいっぱ  
いあってたいへんな  
しごとだと思いました。  
ぼくは、じゅうい  
になりたいけど、  
どうぶつ園では  
はたらきたくないな。



★二年二組

感想文

シン 有紗

じゅういさんのしごとでわたしが  
どろいたのは、ペンギンがボールペン  
のみこんでしまったところ。どうし  
てかという、魚とまちがえて丸ごとの  
んでしまったから。あと、それがい  
のちにかかわるたいへんなことだと知  
たから。じゅういさんは、ペンギン  
におくすりをのませて大きすぎではか  
せると、ボールペンがでできませんでした。  
元気に  
なってよかったです。  
不思議に思ったことは、ボールペンは、  
だれのものかということ。いろいろさ  
んやじゅういさんは、きをつけているの  
で、もしかしたらおきやくさんかもしれ  
ません。どうぶつ園でしまわな  
うに、みんなが気を  
付けたいいけないと  
思いました。



★三年二組

作文

唐澤 萌依

わたしがもし犬だったら、しば犬に  
なりたいたいです。それは、わたしがしば犬  
をかって大すきだからです。わたしが  
犬だったら、一日中外で遊びます。ネコ  
とも一緒に遊びたいです。



★三年二組

作文

小針 未暖

もしわたしがハリネズミだっ  
たら、どこまでも体を丸めて、  
転がってみたい。なぜなら、  
転がりながら、針に何が刺さる  
か見てみたいから。また、  
高いがけからとびおりてみたい  
から。なぜなら、落ちた時  
に、針が守ってくれるから。  
それから、針がぬけたら、な  
にかにさしてみたい。たと  
えば、針を落ち葉にさして、は  
たを作ってみたい。そうい  
うわけで、わたしはハリネズミ  
になりたいです。



★三年二組

作文

かげ山 れお

もし、ぼくがサッカーせん  
しゅにだったら、日本だいひょ  
うになっていろいろな国とたい  
せんしてみたいです。メッシと  
おなじチームでプレーしてみ  
たいです。  
ゆうめいなチームにいせきし  
てたくさんのお金をもらって、  
お父さんとお母さんにりょう  
をさせてあげたいです。



☆二年二組 手紙

中川 ことろう



板野 そうたくんへ  
うんどう会で、なんいだっただの。ここに書いてね。そう  
たくさん足がはやそうだね。ハロウインのコスチュームをば  
くより先に勝ったんだね。いつもいっしょにあそんでくれ  
てありがと。

☆二年二組 手紙

坂野 そうた



はやとくんへ  
この前、えいごの学校でいっしょにおにごっこをやっ  
てくれてありがと。それと、おにごっこするとき、はやとく  
んをつかまえることができなかつたけど、つぎは、ぜった  
いつかまえるからね。

☆二年二組 手紙

荒川 けい



ママへ  
ぼくは、ママがいろんなことをしてくれて、すごくやさ  
しいママにうんでもらったとおもっています。だから、い  
つまでも元気でいろんなことができるママでいてくださ  
い。

☆二年二組 手紙

河野 あいね

かほちゃんへ  
日本で元氣してる。あいねは、かえるくんの本をよんだ  
の。かえるくんがまくんにお手紙をあげてお話なんだ。  
そしたら、かほちゃんにお手紙をあげたくなくなっちゃたんだ。  
しゅうねは、いろんなことばをしやべる  
ようになつたよ。  
「ねね」って言うんだよ。



☆六年二組 「やまなし」を読んで

赤地 理雄

「やまなしのお酒って、どんな味がするのかな」  
これが「やまなし」を読んだ時の私の感想だ。同時に、  
この物語は、とても幻想的な作品だと思った。又、  
賢治は「ぼかぼか流れていく」や「むかもか集ま  
る」などの独特の言い回しを使っている。私は、こ  
んな風な表現をするなんて、賢治はとても想像力  
にあふれた人なんだろうと思った。私は、賢治の世  
界にどんどん引き込まれていった。

この物語には、賢治が農業を通して追い求めた  
理想が表現されていると思う。例えば、魚がかわせ  
みに食べられてしまう場面では、農業に取り組ん  
でいる人々が自然の災害に見舞われ、おそれおの  
のく姿が想像できる。また、かに一家がやまなしを  
見つける場面では、災害にあい苦しい生活を送る  
人々が、農作業の中に喜びや楽しみを見つけてい  
く等、賢治の理想と作品を重ね合わせていたのだ  
はないかと私は考える。賢治の作品にも賢治の理  
想がちりばめられている。しかし、今の社会は、賢  
治が追い求めた理想とはかけ離れている。

人間全てが人間らしい生き方ができる社会が賢治  
が私たちに残してくれた大切なメッセージだと  
思った。  
賢治が書きとどめた物語や詩集は、死後になり  
作品の評価が高まった。文学や芸術の世界は、美  
しいけれど厳しい世界なのだと痛感した。今の時  
代になった。誰物でも賢治の残した作品を知る世  
中になった。きっと賢治は、天国でそっと微笑ん  
でいるのではないだろうか？



☆六年二組 「やまなし」を読んで

大橋 菜歩

私は初めて「やまなし」を読んだと  
き、いろいろなものや風景を他のもの  
や色に例えていて、美しい表現をする  
話だと思った。例えば、宮沢賢治は、  
かのに兄弟たちがはいたあわのことを  
「水銀のように光って」や波のことを  
「青い炎」と書いているからだ。この  
物語で一番印象に残っている場面は、  
十二月の夏から秋の庭の景色を表して  
いるところだ。

理由は、「小さな霧の形の水晶」  
「ラムネのビン」の月光」などがこの物  
語の中で一番美しい表現をしていたか  
らだ。宮沢賢治は、一本の木にも、身  
を切られるときの痛みとか、ひなた  
ぼっこの心地よさとか、いかりとか思  
い出とか、そういうものがぎゅっとあ  
るに違いないと考えた。私は、「やま  
なし」のカニたちのことも、自分のこ  
とのように書いたと考えた。カワセミ  
にたいする恐怖ややまなしのおい  
味をかんじることができるようにな  
ったかたのでないか。

私は、宮沢賢治が書いた作品は、面  
白いものばかりだと思う。それだけ  
なく、動物が主人公だったら、その物  
語らしさを残しつつ、人間らしさを加  
えていると考える。私は、彼が書いた  
物語が好きだ。



